

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目8番2号 京橋MKビル4階

一般財団法人 日本ふとん協会  
TEL. 03-6264-4040<https://www.japan-futon.or.jp>  
FAX. 03-6263-2660日本ふとん製造協同組合  
TEL. 03-6263-2661<https://www.futon.or.jp>  
FAX. 03-6263-2660

JFMA ふとん

検索

**JFA**

(財)日本ふとん協会

**JFMA**

日本ふとん製造協同組合

## 第60回定期総会 役員改選

代表理事	浅黄 敬之	理事長	浅黄 敬之 (アサギ(株)代表取締役社長)
副理事	松田祥一郎		(大恵ウール(株) 代表取締役社長)
新任理事	佐藤 雅己		(福島寝装(株) 代表取締役社長)
新任理事	河村 佑太		(コドモわた(株) 代表取締役社長)
再任専務理事	只野 悟		(事務局)
再任理事	富澤 順		(丸三綿業 技術顧問)
再任理事	米山 元章		(株)エビス 代表取締役)
再任理事	石田裕紀子		(木村綿業(株) 専務取締役)
再任監事	根本 昌弘		(株)根本 代表取締役社長)
再任監事	大賀 茂功		(ダルマックス(株) 代表取締役社長)

### 新副理事長挨拶

新副理事長 松田祥一郎氏

この度、平成30年5月17日の総会後の理事会にて副理事長に選任されました大恵ウール株式会社の松田です。前任の奥中副理事長の功績には頭が下がる思いで、私には身に余ることとは思いますが、浅黄理事長の補佐として組合の健全な発展を目指し、他の役員の方々と共に努力してまいりますので、組合企業の皆様のご協力、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私が初めて監事として組合の役員に選任されたのが平成21年でした。その年の総会資料を見てみますと組合員数が期首102社から期末98社と100社を切っていました。そして今年の平成29年度末の組合員数は66社と9年間で約3割減となってしまいました。退会された企業に

も様々な理由はあると思いますが、今後もこのような傾向が続くとなると組合活動に支障をきたし、延いては組合員にも影響が出てくるようにも思われます。

今、私たちの業界の現状は今までとは比べようのない速さで変化していると思います。このような状況のなかで、組合が組合企業に対し、タイムリーで有益な情報や有効な対策などを発信していかねばと考えます。そして組合員数の減少に歯止めをかけ、健全な組合が維持できるお手伝いの一助になればと思います。



## 新理事挨拶

新理事 河村 佑太氏

この度は若輩ながら理事という大任を賜らせて頂きましたので精一杯皆様のお役に立てればと考えております。

今後の2年間については、自分自身が異業種から来たことを活かし、よりフラットな目線で業界を見ることで何かしらの発展につながる事が出来ればと思います。



寝具業界は高齢化に伴い、後継者不足や小売店の廃業等、苦しい局面も多々見受けられます。

時代の変化と共に今後の形をどう変えて行くのが良いのかを、組合員全員で考えてくべきと思います。

各社業態の違いはありますが、寝具業界という全体を支えるためにも、より知恵を絞り努力が出来ればと思います。

## 新理事挨拶

新理事 佐藤 雅己氏

この度理事に就任をさせて頂きました、福島寝装株式会社の佐藤雅己と申します。

会社は福島市から東に20km程の山間に位置します。

2011年の震災、原発事故によって全村避難を強いられた飯館村から車で5分の所に位置しますが、阿武隈山脈により放射能の侵入が遮られ避難を免れました。

風評被害も最小限にとどめられ事業を継続することが出来たことは、大変幸運なことであります。

当時全国の皆様に温かいご支援をいただきましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

日本ふとん製造組合は、浅黄理事長はじめ役員皆様方のご尽力によって活発に活動されている組合であり、寝具業界を支える組合員皆様の礎と考えております。

しかしながら、時代の流れとは言え組合員の減少傾向は大きな問題であり執行部の先輩方は最も力を入れて取り組んでいる懸案だと思います。より多くの事業所が組合にご参加いただき一層組合を盛り上げて行けるよう、私も微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

何卒、組合員様におかれましては以後ご指導を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

# 平 29 年 度 事 業 に つ い て

## 1. 指導教育事業について

組合員の事業に関する経営、技術の改善向上を図るため指導教育事業を行う。

- (1) 機関紙「JFMA情報」の発行（年3回）
- (2) 視察・研修会の開催（平成30年7月12日(木)・13日(金)）  
〔一般財団法人日本ふとん協会と共同で、倉敷市にて開催〕
- (3) その他必要に応じ懇談会あるいは講演会の開催

## 2. 需要新興事業

- (1) 日本製ラベルの発行
- (2) 10月10日の「ふとんの日」かんする事業

## 3. JFMA共同ブランド「まるごとジャパン」事業

- (1) 「まるごとジャパン」普及活動
- (2) 「まるごとジャパン」スタンダードバージョン・ラベルの発行  
ふとん・まくらに縫い込みネームも同時に発行

## 4. 調査研究事業

一般財団法人日本ふとん協会と共同でふとん用原料及び調査及び視察を行う。

## 5. 委員会、部会の活動

- (1) 経営情報委員会事業
  - ① 「JFMA情報」の編集
  - ② HP組合員への情報提供
  - ③ まるごとジャパン推進
- (2) 品質管理部会事業
  - ① 品質管理及び品質基準に係わる調査・研究
  - ② その他必要な事業
- (3) ふとん部会事業
  - ① ふとんに関する啓発活動
- (4) 国際交流部会事業
  - ① 第16期外国人技能実習生受入れ事業
  - ② 海外との交流事業

## 6. 福利厚生について

- (1) 火災により損害を受けた組合員に対し、お見舞いを呈上する。
- (2) 組合員に対して、内規による弔慰金を呈上する。

## 7. 経済事業

- (1) わた見本袋等の斡旋を行う。
- (2) その他必要に応じ斡旋等を行う。

## 8. 団体折衝並びに団体協約について

組合員の経済的地位向上のため必要がある場合は、関係諸組合と団体折衝並びに団体協約の締結を行う。

## 9. その他の附帯事業について

その他必要に応じ実施する。

本年も恒例の一般財団法人日本ふとん協会と日本ふとん製造協同組合が共催で行う第16回JFMA研修会が7月12日(木)、13日(金)の2日間、岡山県倉敷市の地にて開催されました。当初、西日本を襲った豪雨の為、自粛ムードも漂う中、開催が危ぶまれましたが少しでも地元の為になれば、また元気付けをと言う気持ちのもと、あえて開催に踏み切りました。今回参加された組合企業は14社25名の方が集まりました。研修会初日は昨年に引き続き、まくら株式会社・代表取締役社長の河本智行氏による講義と、2日目はJFEスチール株式会社西日本製鉄所倉敷地区の工場見学が研修会の主な内容です。



初日は5年続けての講師をお願いしています、まくら株式会社・代表取締役社長の河元智行氏による講義でした。タイトルは「100年後でも生き残れる寝具企業の条件その4」とのテーマで、我々製造業のあるべき姿や今後の課題など、インターネットを活用した販売手法・SEO対策テクニックなどを詳しくレクチャーしてくれました。毎年お話していただいておりますが、ブランド化・シリーズ化をしていかない商品・企業は価値が伝わらず売上にも直結すると言う事。寝具業界におけるブランド力向上と各社ホームページの見直し、企業イメージの強化などが最重要課題であります。講義中はチーム力を試す簡単なゲームを交えながら約3時間半もの長丁場を講義していただきました。初日の講義終了後、河元社長にもご参加いただき、倉敷市内の居酒屋で懇親会を開きました。参加された方々は講義の延長で約1年振りに集う同業者の仲間と懇親を深めると同時にこれからの寝具製造業者のあるべき姿や寝具業界の将来について杯を酌み交わしながら熱く語り、情報交換を楽しんでおりました。

研修2日目はJFEスチール株式会社西日本製鉄所倉敷地区の工場見学でした。敷地内にはゴルフ場もあり、用地面積は1,089万㎡、東京ドームの約234倍にあたる広さを誇ります。原料受入れから商品出荷まで製造プロセスに沿って各工場が配置され、効率的な運営が可能になっております。世界最先端のテクノロジーを駆使したダイナミックな製鉄ラインと高品質の商品づくりは圧巻で、酷暑の中



平成30年6月20日

の熱気のある工場見学でしたが、日本の基幹産業を支える工場を見学出来た事は何事にもかえられない貴重な経験でした。

今回の研修会も次世代を担う若手中心とした研修会でしたが、同じような境遇で悩みや不安を抱えている経営者・若手社員にとっては経営指針となる貴重な研修会だったと思います。来年は福岡県大牟田市開催になる見込みで、各社変わった姿で再会をし、業界を活性化するべくまた多くの方のご参加を期待しております。



# 第16回「JFMA研修会」日程表

日本ふとん製造協同組合／一般財団法人日本ふとん協会

## 1. 研修の目的

会員の役員及び若手経営者、幹部社員を一同に集め、今後の中小企業の事業戦略及び「JFE スチール(株)西日本製鉄所」の工場見学と、インターネット販売等について昨年に引き続きパート5として、まくら(株)河元智行社長様にお話しをお伺いすることに致しました。それらを通して、今後のふとん製造業の方向性の検討を行い、寝具業界の活性化に資することを目的とします。

2. 開催期日 平成30年7月12日(木)～13日(金)

3. 開催場所 コートホテル倉敷  
〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-2-26  
(TEL) 086-425-5100  
山陽本線倉敷駅南口から徒歩8分

4. 参加予定人員 20人

## 5. 日程

期日	時間	テーマ	講師
7月12日(木)	13:00	集合	
	13:20～13:30	オリエンテーション	
	13:30～16:00	〔講義〕 「100年後でも生き残れる 寝具企業の条件4」	まくら株式会社 代表取締役社長 河元智行氏
	16:00～16:10	休憩	
	16:10～17:00	グループディスカッション： 「ふとん製造業としてのインター ネット販売等の活用について」	(司会・予定) 日本ふとん製造協同組合 理事長 浅黄 敬之氏 まくら株式会社 代表取締役社長 河元智行氏
	18:00～20:00		
	18:00～20:00	懇親会	
7月13日(金)	9:30	コートホテル出発	
	10:00～11:00	JFE スチール(株)西日本製鉄所	
	12:00	現地解散 バスにて 新倉敷駅⇒倉敷駅と移動します	

# 平成30年7月12日13日 JFMA 研修会名簿

平成30年6月20日 日本ふとん製造協同組合

No.	氏名	会社名	役職名	宿泊	備考
1	河元 智行	まくら株式会社	代表取締役社長	7/12	13参加

No.	氏名	会社名	役職名	宿泊	備考
1	白崎 善大	白崎工業繊維(株)	専務取締役	7/11・7/12	13参加
2	河村 佑太	コドモわた(株)	代表取締役社長	7/1・7/12	13参加
3	浅黄 敬之	アサギ(株)	代表取締役社長		13参加
4	浅黄 利洋	アサギ(株)	取締役東京支店長	7/1・7/12	13参加
5	遠藤 薫	東京化セン(株)	EC事業部部长	7/12	13参加
6	渡来 宏明	東京化セン(株)	企画室長	7/12	13参加
7	中條 裕介	(株)コボックス	代表取締役社長	7/1・7/12	13参加

8	石田裕紀子	木村綿業(株)	専務取締役	7/1・7/12	13 参加
9	米山 元章	(株)アビス	代表取締役社長	7/12	13 参加
10	米山 幸平	(株)アビス	営業部	7/12	13 参加
11	長渕 智広	山甚物産(株)	リビング本部営業部長	7/12	13 不参加
12	金森 秀子	金森(株)	取締役会長	無	13 参加
13	小塩由希子	金森(株)	代表取締役社長	無	13 参加
14	鶴崎永里子	金森(株)	取締役工場長	無	12 会議
15	長尾 祐二	金森(株)	営業	無	12 会議
16	上山 純	金森(株)	営業	無	12 会議
17	石井 将基	(株)ウエルストンクラシキ	代表取締役社長	無	13 参加
18	石井 開太	(株)ウエルストンクラシキ	専務取締役	無	13 参加
19	竹森 耕太	(株)ウエルストンクラシキ	支店長	無	13 参加
20	本多 英治	本多綿業(株)	専務取締役	無	13 参加
21	浅尾 大介	浅尾繊維工業(株)	専務取締役	7/12	13 不参加
22	大賀 茂功	(株)ダルマックス	代表取締役社長	7/12	13 参加
23	松田 宰	メルクロス(株)	リビングユニット	7/12	13 参加
24	比護 佳治	メルクロス(株)	リビングユニット	7/12	13 不参加
25	只野 悟	事務局	専務理事	7/12	13 参加

## 第16次

# 実習生12名入国

当組合の外国人技能実習生受入れ事業は、今年で16年目を迎え第16次技能実習生として中国人5名、8月8日に、8月20日に中国人5名、カンボジア人2名、合計で12名の技能実習生が来日致しました。また、今年度は12月にフィリピン人6名の技能実習生の入国が予定され、この16年間で当組合が受入れた技能実習生の延べ人数は600名となりました。

現在、技能実習生を受入れている組合員数は12社、実習生数は64名となっております。

残念なことに昨年末から今年3月末に行方不明者2名、途中帰国者4名でした。

今年の入国に遅れは、昨年11月1日外国人技能実習機構法が、施行されました。それに伴う審査基準や書類提出の多さ、それにもまして、旧制度では、代表的実習生1名を確認しながら審査を実施しておりましたが、必ず全員を審査し、訂正があれば、書類の再提出を余儀なくされ、事務局と実習実施者とのメールでのやり取りであれば時間の口又は、あまり発生しないのですが、代表印の再提出となりますと、書類に発送とに時間がかかりました。このようなことが、誰も予想がつかないこと、また、機構の審査が終わり、申請受理番号が全員揃わなと在留カードの申請を入国管理局に提出できず、認定証交付に昨年よりも1か月以上もかかりました。

また、フィリピンについては、フィリピン政府が、昨年の11月1日施行とともに、自国にて日本の外国人技能実習制度の見直しを始めたために今年の6月まで日本への実習生の送出しを許可しませんでした。



嵩日国際研修センター 8月10日(木)開校式



成田空港入国 8月20日(月)



きぼう国際外語学院 開校式

ようやくフィリピン政府が、許可をだし、日本と同じようにフィリピン政府から直接の権限を POE Aに持たせてやっと手続きが、開始されました。それでも昨年よりも厳しい書類の提出を要求されるようになりました。各提出書類には、翻訳を必ずつける。(登記簿、監理団体許可証、技能実習計画のサンプル、実習生技能工程表 - 寝具製作作業 (厚生労働省規格 - 技能検定に基づく) など)

必ず署名がすべて必要になり、送出し機関と当組合の協定書には、公証役場の証明を添付などです。

## 株式会社エビス *Ebisu*

代表取締役 米山 元章



### A. 御社の紹介をお願いします。

弊社は1922年(大正11年)に東京都世田谷区で創業し現在は神奈川県川崎市に本社を置き、群馬県邑楽郡にて自社工場を操業し今年で96年になります。商品の供給先は多岐に渡りますが、根底にあるのは『寝具を通して、お客様に満足していただける睡眠環境をお届けする』こと。約100年の間、培われて来た経験に基づく技術と伝統を新たな世代が受け継ぎ、さらなる成長を目指し活動しております。

### A. 組合に期待する事は何でしょうか？

異業種との交流の機会をこれまで以上に設けて頂きたいです。カバーやベッドメーカーなどの同業異業種を始め、様々な分野の方々と接し刺激を受ける事で、次世代を担う人材の育成や新たな商品開発や発信のヒントを得られるのではないのでしょうか。その他、ラベルや素材の普及活動の拡大もお願いしたい。

### A. 最後に御社の展望をお聞かせ下さい。

弊社が約100年の間に築き上げてきた伝統と信頼をさらに強固なものにするためには、『made in Japan』・『made in Ebisu』の考えは変わりません。そのうえで、あらゆる変化に対応する力。物事を発信出来る力を身に付け、寝具を通して社会に必要とされる企業にしていきたいと思っています。

(株式会社エビス 米山社長、ありがとうございました！)

## アサギ株式会社

代表取締役 浅黄 敬之

### 【会社紹介】

弊社は明治39年に山形県山形市六日町で創業しました。昭和31年に浅黄製綿株式会社を設立し法人化しました。昭和44年に立谷川工業団地に工場を移転し、昭和52年に山形市流通団地に本社を移転しました。昭和57年に社名をアサギ株式会社に変更し、平成6年には東京営業所を設立し現在に至っております。初代創業者から私で4代目になります。創業当初は製綿業中心に小売と打直しがメインでしたが、時代の変遷とともに自社製品の卸売が主流となり、現在は卸売が縮小し業務用寝具と個人用寝具の販売に力を入れております。



### 【組合に期待すること】

個々のJFMA会員企業単独の力は小さいですが、会員企業の小さな力を結集して大きな力を発揮できるような組合事業ができれば素晴らしいと思います。海外から廉価な製品が洪水の如く日本に輸入されている昨今、海外製品との品質の違いを明確にし、JFMA企業製品の素晴らしさを消費者にアピールできる事業を期待します。

### 【今後の展望】

自社製品の製造直販に力を入れていきます。そのためにはメディアなどを利用して自社のブランド力を高めるとともに、ネット販売や店舗内での体験販売を通して一歩ずつ確実に自社製品のファンを増やしていきたいと考えています。

# 統計資料

## 繊維統計

### ふとん生産量の推移

(単位：千枚、%)

2018年 1～6月の ふとん生産量  12万枚 0.78%減少	年別	掛け	敷き	こたつ	羽毛	合計
	07年	1,529 79.0	2,341 82.3	279 54.5	1,735 88.4	5,884 81.1
	08年	960 62.8	1,811 77.4	281 100.7	1,722 99.3	4,775 81.2
	09年	973 101.4	1,762 97.3	259 92.2	1,758 102.1	4,753 99.5
	10年	978 100.5	1,710 97.0	237 91.5	1,659 94.4	4,583 96.4
	11年	893 91.6	1,744 102.3	201 79.4	1,561 93.9	4,399 96.1
	12年	813 91.0	1,661 95.2	161 80.1	1,382 88.5	4,017 91.3
	13年	759 93.4	1,482 89.2	138 85.7	1,328 96.1	3,706 92.3
	14年	791 104.2	1,598 107.8	160 115.9	1,296 97.6	3,844 103.7
	15年	754 95.3	1,551 97.1	112 60.0	1,214 93.7	3,631 94.5
	16年	717 95.0	1,480 95.5	99 88.2	1,305 107.6	3,601 99.2
	17年	704 98.2	1,314 88.8	66 66.7	1,288 98.7	3,372 93.6
	18年 1～3月	158 93.4	318 86.6	3 100.0	262 88.2	741 88.6
	18年 4～6月	161 94.2	302 98.4	13 92.3	222 95.3	698 96.3

## 貿易統計

2017年1～12月の輸入数量  
285万枚 15%増加

### 合繊ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年別		中国	その他	合計
15年	数量	13,352 (96.2)	838 (134.3)	14,190 (97.9)
	金額	26,097 (105.3)	2,898 (134.5)	28,995 (107.6)
16年	数量	14,301 (107.1)	736 (87.8)	15,037 (106.0)
	金額	22,867 (87.6)	2,145 (74.0)	25,012 (86.3)
17年	数量	17,148 (120.0)	747 (101.5)	17,895 (119.1)
	金額	27,100 (118.5)	1,672 (77.9)	28,772 (115.0)

2017年1～12月の輸入数量  
50万枚 34.4%増加

### 羽毛ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年別		中国	その他	合計
15年	数量	1,649 (104.1)	246 (89.1)	1,895 (101.9)
	金額	7,265 (101.1)	1,903 (86.4)	9,168 (97.7)
16年	数量	2,032 (123.2)	208 (84.6)	2,240 (118.2)
	金額	6,846 (94.2)	1,112 (58.4)	7,958 (86.8)
17年	数量	2,573 (136.6)	164 (86.4)	2,737 (134.4)
	金額	8,915 (130.2)	1,081 (97.2)	9,996 (125.6)